

## ＜目標分野＞ ※該当するものに全て印

- ① スポーツを活用した経済・社会の活性化  
 ② スポーツを通じた健康増進・心身形成・病気予防  
 ③ 自然と体を動かしてしまう「楽しいまち」への転換

## ＜目標内容＞

～産・学・官で連携したスポーツを活用した地域活性化の実現～

## 【具体目標】

- ①本事業での宿泊者数増加（R3 3,050→4,050泊/年）②本事業での市内企業収入増加（R3 50,000千円→60,000千円/年）  
 ③本事業への市民協力者や参加者数増加（R3 5,000→10,000人/年）④大学生が「まちづくり」・「地域企業」との交流数増加（R3 75→110人/年）

## ＜PRポイント＞

- 【ワンストップ】会場、対戦相手、配宿、大会運営等の手配が完了  
 【スポーツ弁当】市スポーツ栄養士監修のスポーツに適した地元食材の弁当の提供  
 【観光】豊富な観光資源を持つ市の強みを生かした各種オプションツアーの提供

## ＜概要＞ 計画期間：～令和5年(2023年)3月31日

## ＜現状・課題＞

- ・御前崎市は全国でも有数の日照時間が長い地域であり、多くのスポーツ施設を有している。
- ・合併後17年で約4,500人減少（12.5%減）、特に若年人口の減少が課題。魅力ある地域づくりや働く場の提供が必要。
- ・観光客数も減少しているため、交流・関係人口の拡大が必要。

## ＜総合的な取組内容＞

## 「魅力ある発信・交流づくり」（第2期総合戦略）

～市の魅力を十分に発揮し、交流・関係人口を創出し、新たな人流をつくる～

## ＜具体的事業＞

## 【ワンストップ事業】

- ・合宿、大会、練習試合等の誘致・手配
- ・プロチームの合宿等誘致・手配（サッカー、陸上等）
- ・スポーツ食の開発・提供（昼食・夕食、ドリンク等）

## 【その他事業】

- ・ニュースポーツの発掘・活用（フットゴルフ、アルティメット等）
- ・観光オプションツアーの拡大
- ・地元プロアスリートを活用しての指導プログラム検討（2022年予定）
- ・地元大学のフィールドワークの協力



天然芝・2019RWC南アフリカ代表チーム使用



OSP主催サッカー大会



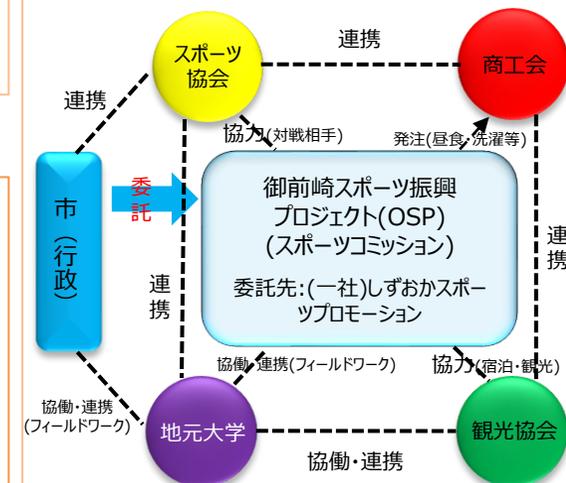
NEWスポーツのフットゴルフ（市内ゴルフ場）



2019RWC公認チームキャンプ地（南アフリカ代表受入）

## ＜継続的な取組を確保できる体制（図）＞

ALL御前崎で御前崎スポーツ振興プロジェクトを推進します。



※委託費は企業版ふるさと納税を活用、今後は自走化を検討

## 各種基礎データ

- スポーツ部局の所属先  
教育委員会社会教育課（スポーツ振興政策）  
（公財）御前崎市振興公社（施設管理運営）
- 地方版総合戦略  
御前崎市第2期総合戦略（2020年4月）
- 地域スポーツコミッション  
御前崎スポーツ振興プロジェクト（2018年6月）
- ホストタウンの相手先 なし
- その他  
2019RWC 南アフリカ・ジョージアの公認チームキャンプ地

